



この春はアートな町へひとり旅

oz TRIP

magazine

旅する女性の情報誌
オズマガジントリップ
2020年4月号 本体価格636円+税



アートな町で楽しい1日を!

春のひとり旅



こちらにも注目!

スマホで
見られる
電子版

取り外しOK!

—
YORIMICHI
ART NOTE



日々の暮らしに取り入れやすい
手仕事雑貨をセレクト

「普段の生活が心地よく、楽しくなりそうなものを集めました」と話す、店主の千葉綾子さん。やわらかな光が満ちる空間には、東北のかご細工、岩手の浄法寺塗の漆器、岩手の宮古和人さんの陶器、北海道の作家のガラスアクセサリーなど、全国の多彩な手仕事アイテムが並ぶ。お気に入りの探すうち、時間の経つのも忘れそう。

ao+水玉 アオトミズタマ

TEL0172-55-9962 青森県弘前市住吉町8 ☎
10:00~18:30 木定休 アクセス/JR弘前駅
より徒歩15分 MAP P77 B-2

1. 秋田の漆器作家・高橋睦さんのりんご椀各7700円。国産漆を使い、内側の種は手描き。津軽ごぎん刺しからインスピレーションを得た箸は5500円
2. 岩手の鳥越地区で古くから受け継がれてきたスズタケの市場かご7370円
3. 普段置いてできる陶器や漆器が充実
4. 白壁にお店のテーマカラーである水色のドア枠が映える外観。窓越しに見える陳列に引き寄せられる
5. 店主の千葉綾子さん



4月
オープン!

INFORMATION

弘前れんが倉庫美術館に注目



上空からみたシールド・ゴールドの屋根 ©Atelier Tsuyoshi Tane Architects



高さ15メートルの大型展示空間 ©Atelier Tsuyoshi Tane Architects



吉野町煉瓦倉庫 外観 ©Naoya Hatakeyama

弘前れんが倉庫美術館

ひろさきれんがそうごびじゅつかん

明治・大正期に酒造工場として建てられ、約100年の歴史を刻んできた吉野町煉瓦倉庫が、4月11日、美術館として生まれ変わる。8月31日までは開館記念展の「Thank You Memory 一醸造から創造へ」を開催。

TEL0172-32-8950 青森県弘前市吉野町2-1 ☎9:00~17:00(16:30最終入館) ※金・土はスタジオ、ライブラリーのみ~21:00 火休館(祝の場合翌休。弘前さくらまつり・弘前ねぶたまつり期間中は開館) 観覧料/展覧会により異なる アクセス/JR弘前駅より徒歩20分 MAP P77 B-2



1. 青森名産のりんごをモチーフにしたランプ30800円~
2. ショールームスタッフの館山乃奈さん
3. トレイ エッグS8800円、M13200円、ボウル6600円。すべてカラーはナチュラル

デザイン性が高くエコなブナの工芸品

日本一の蓄積量を誇る県産ブナ材を有効活用するために考案された「BUNACO」は、厚さ1mmにスライスしテープ状に巻きつけたブナ材を立ち上げて作る伝統工芸。曲線の美しさ、透過光が醸し出す木肌の表情を活かしたテーブルウェアやランプは温かみを感じさせる。

BUNACO Show Room「BLESS」
「プレス」

TEL0172-39-2040 青森県弘前市土手町100-1もりやビル2F ☎10:30~19:00 不定休 アクセス/JR弘前駅より徒歩13分 MAP P77 B-2